

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「平成26年度 当会運営の基本方針・事業計画」 事務局長

4.5

- 2 トピックス 「文部科学省 優良公民館表彰受賞」 三条市中央公民館
- 3 視点 「輝く中学生～未来のリーダーたち～」 村上市健民少年団事務局・岸 宗光
- 3 ひろば 「郷土かるたで町を再認識」 津南町・磯部 義栄
- 6 実践記録シリーズ 「“児童期家庭教育セミナー” 実施報告」 新潟県生涯学習協会
- 7 サークル交流 「書友」(魚沼市) / 「社交ダンスの楽しみ」(弥彦村)
- 7 素顔拝見 前川 岳土さん(柏崎市) / 竹村しのぶさん(出雲崎町)
- 8 お元気ですか 「地域活動を通して思うこと」 妙高市・小川喜美子さん
- 8 ネットワーク 恵贈資料紹介



佐渡トキマラソン (佐渡市)

表紙解説

写真は、昨年の「祝 佐渡市市制施行10年記念事業」の様子。今年は、4月27日(日)に開催されます。

文部科学省 優良公民館表彰受賞

三条市中央公民館

平成25年度の全国優良公民館表彰式が3月4日(火)に文部科学省講堂で行われました。本県では三条市中央館が受賞しました。



受賞の三条市中央公民館のみなさん

優良公民館表彰を受賞して
三条市中央公民館長

金子 正典

このたび、第66回全国優良公民館表彰を受賞し、去る3月4日(火)、文部科学省第2講堂において、全国61公民館の受賞参列者とともに表彰式に出席させていただきました。

本当に、有難い気持ちと喜びを感じております。

あらためて、当館利用者や多くの関係者の皆様による日々の活動支援やご協力があったることと感謝申し上げます。

三条市の中央公民館は、小学校、図書館、国登録有形文化財となっている中心市街地にあります。今回、当館が核となり、4つの施設を拠点として生涯学習と文化振興を有機的に活用し、地域の児童の参加やこどもから大人に繋いでいる伝承文化の発表など、地域の小学校や団体等とも連携して「まちなか文化祭」を開催し、生涯学習の情報発信拠点としての機能の強化に取り組みました。市民の学びの発表と文化交流の場として、また、当市が政策としているスマートウエルネスの視点からも、各会場やまちなかの小路を巡るなど、歩くことによる市民のこころと体の健康、

生きがいづくり、まちなかの活性化にもつながる取組として評価をいただいたものです。

この事業は、平成24年度初めて取り組んだ事業であり、多くの課題と夢を与えてくれることになり、この表彰を機に、大切に育てていくべき事業となりました。

今後も生涯学習の核となる拠点として、多角的に機能できる公民館になるよう努めてまいります。そして、これからも利用者の皆様とともに成長していきたいと思っております。ありがとうございました。

三条市・公民館関係者の皆さま、受賞を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

なお、過去十年間は次の市町村・館が受賞しています。

平成15年度

紫雲寺町中央公民館
聖籠町公民館

平成16年度

新潟市関屋地区公民館
小須戸町公民館

平成17年度

湯沢町公民館

平成18年度

新潟市北地区公民館

平成19年度

新潟市西川地区公民館
新潟市石山地区公民館

平成20年度

該当なし

平成21年度

燕市中央公民館

平成22年度

該当なし

平成23年度

新潟市鳥屋野地区公民館

阿賀町公民館

平成24年度

長岡市中央公民館

(田原)



「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

視点

輝く中学生 ～未来のリーダーたち～

村上市健民少年団事務局 岸 宗光



生涯学習における青少年の体験活動は、ほとんどの市町村で小学生を対象に実施しています。村上市内の公民館活動も同様で、放課後子ども教室や、週末の体験活動(自然体験・文化体験など)は、小学生を対象としているものがほとんどです。過去には、中学生対象事業を実施したこともありました。が、「参加者が集まらない」などの理由で、実施されなくなってきました。中学生になると、部活動やテスト勉強などで、放課後や週末も多忙であるということが理由です。

そのような状況の中で、健民少年団では、小学生を少年隊、中学生を中堅隊、高校生を青年隊と位置づけ、幅広い年代層を対象とした体験活動を実施しています。活動の中でも重要視しているのは、「地域の指導者によるリーダー養成」「中堅隊などのリーダーを中心に子どもの自主

性を尊重する」です。もちろん、安全に活動するためには、指導員が細かく段取りをし、子どもたちを管理することも重要です。ところが、大人の指導や管理を意識しすぎると子どもたちの自主性が損なわれることもありま

8月に愛知県豊橋市で行われた全国大会でも、中堅隊が夏休み返上でスタンツ練習に励み、少年隊を指導して当日も大成功でした。

最近の中学生は、幼い一面もあり、ひと昔に比べるとリーダーとしての力も劣る面もあるかもしれませんが、健民少年団の中堅隊を見ていると「まだまだ捨てたもんじゃないな」と感心させられます。県内でも、健民少年団の活動がもつともっと広がるといいな！と願っています。

H O T N E W S

掲 示 板

よし！これは使える 「新潟県家庭教育支援 ガイドブック」

新潟県教育委員会ではこのたび家庭教育学級や講座に役立つ資料として「家庭教育支援ガイドブック」を作成しました。内容は、学校が保護者向けに配布できる家庭教育に関する情報や講座等に役立つ資料が豊富に掲載されています。また、参加型家庭教育講座プログラム例や小学校での活用事例を紹介しています。資料はコピーやダウンロードをして使いやすいように編集されていて、公民館の家庭教育学級でも活用できる仕様になっています。パソコンから「新潟県家庭教育支援ガイドブック」を「検索」で簡単に閲覧できます。

問い合わせ
新潟県教育委員会・
新潟県地域家庭教育推進協議会
〒950-8570
新潟県教育庁生涯学習推進課
TEL 025-280-5617
FAX 025-284-9396



▲子どもといっしょにペタンコ (左端が磯部)



私たち社会教育委員が運営スタッフとなった子育て支援事業の一環の「親子餅つき&郷土かるた大会」が二月二日、町公民館で行われました。当日はいろいろな行事が重なり、人出が心配でしたが、それでも餅つきには約五十人、かるたには約二十人の親子が参加してくれて、楽しいひと時を過ごしました。

餅つき大会では、子どもたちもかわるがわる餅つきに挑戦し、重い杵で一生懸命にペタンコペタンコと頑張りました。出来たての餅は、きな粉と大根おろしでいただきました。杵つき餅はまた格別の味、みんな舌鼓を打ちました。

また、郷土かるたとり大会では、三十年前に津南町の自慢を町民から募集して作ったかるたを使用。子どもたちはもとより、若いお母さんも知らない町の自慢がいっぱい、町を再認識できたひと時でした。

郷土かるたで町を再認識

ひろば

津南町社会教育委員 磯部義栄



運営の基本方針・事業計画

実務研修の実施

- ② 公民館長、職員の専門的資質向上研修
- ③ 県立生涯学習推進センターの研修事業への積極的な参加
- ④ 全国公民館セミナー研修会へ県内公民館職員の参加推薦
- ⑤ 研修資料の作成・配付
- (3)情報提供事業の充実 情報の収集、提供
多様な学習機会の提供・開発に関する情報の相互交換により、公民館事業の活性化に努める。
- ① 新潟県公民館月報の販売促進（自主購読の促進）と紙面内容のさらなる充実
- ② 全公連の情報を得ながら、関ブロ公連、地区公連との情報交換の促進
- ③ 研修資料等の作成・配付
- ④ 発行済みの新潟県公民館月報のデータ（前年度分）をホームページに掲載
- ⑤ ホームページによる各種情報提供
- (4)主催事業、関係事業の実施と支援
県公民館大会の開催、関東甲信越静公民館大会開催協力、各地区公連研修会等の開催と支援
- (5)本会運営上の体質強化
- ① 新潟県市長会、町村会及び全国公民館連合会への援助・要望
- ② 自主財源確立のための調査検討委員会の活動継続

3 事業計画

- (1)役員会
 - ①評議員会……年2回
 - ① 5月20日(火)新潟市
 - ② 2月19日(木)新潟市
(平成27年)
 - ②理事会……年3回
 - ① 5月20日(火)新潟市
 - ② 6月11日(水)新潟市
 - ③ 2月19日(木)新潟市
(平成27年)
- ③監事会……5月9日(金)新潟市
- ④正副会長会…必要に応じて
- (2)専門委員会
 - ①編集委員会…年2回（6月、2月）

- ②自主財源確立のための調査検討委員会
……年2回（8月、12月）
必要に応じて
- (3)上部組織連絡会議・研修会
 - ①全国公民館連合会総会
……年1回 会長、事務局長参加
 - ②関東甲信越静公民館連絡協議会理事会
……年2回 会長、事務局長参加
 - ③関東甲信越静公民館連絡協議会理事研修会
……年1回 会長、事務局長参加
- *平成26年度は新潟県公連会長が関ブロ副会長
- (4)大会、研修会、講習会への参加
 - ①公民館運営審議会委員研修及び初任・中堅職員研修
～上・中・下越ブロック別実施～
 - ②第65回新潟県公民館大会
平成26年7月17日(木)
新潟市江南区文化会館
 - ③生涯学習職員指導者研修会
(参加協力) 県立生涯学習推進センター
 - ④生涯学習実践研修
(参加協力) 県立生涯学習推進センター
- (以下上部団体研修)
 - ⑤第55回関東甲信越静公民館研究大会
平成26年10月16日(木)
埼玉県・熊谷会館他
 - ⑥第36回全国公民館研究集会
平成26年10月16日(木)～17日(金)
埼玉県・熊谷会館他
 - ⑦第26回公民館全国セミナーへの参加
平成27年2月
国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ⑧関東甲信越静公民館連絡協議会
理事会①平成26年5月15日(木)～16日(金)
熊谷市ハートピア
②平成26年11月14日(金)理事会・研修会
東京八重洲ホール
③平成27年2月東京都
- (5)資料、刊行物の発行・斡旋
省略
- (6)社会教育機関・団体との連携事業、運動
14団体と連携・省略

特集

「平成26年度 当会



事務局長
田原 理

2月20日(木)に理事会と評議員会が開催され、平成25年度の会務報告と平成26年度本会活動基本方針が承認されました。これに基づき、5月に開催される今年度の第1回理事会、評議員会を経て今年度の事業が始まります。その詳細を次に述べます。

1 運営の基本方針

現在公民館をめぐる状況は、全国的に日々厳しくなっています。また、多くの自治体で、公民館の現行制度やその役割を見直したり、職員数や財政面での緊縮を積極的に進める方向に向かっています。

一方、わが国では生涯にわたる学習活動が活発で、公民館を利用して学習している人は全国で約2億5千万人、本県では318万人（H24 315万人平成25年度県生涯学習・社会教育の現状調査）にのぼっています。

しかし、これだけの利用者がありながら、その一方で、公民館は「貸館」と揶揄されたり、公民館「不要論」が叫ばれるような現実があります。各公民館ではこのような現実を受け止め、公民館の現状を改善するために、公民館の存在や役割・機能がこれからの時代にますます必要となることをそれぞれの立場で首長、財政当局や住民に訴え、認めてもらう努力が強く求められています。

そのためには、それぞれの公民館の運営では、さらなる創意工夫と努力を重ね、地域の課題、生命、健康、人権、家庭・家族、地域の連帯、まちづくり、高齢化社会、男女共同参画社会、国際理解、環境・エネルギー等の現代的な課題をとりあげ、事業として実践することにより、公民館が地域にとって欠くことのできない存在となることが必要です。

公民館では、これらの課題に根ざして行われる各種の事業やその成果を高める教室・講座を実施してきました。これらの活動をとおして、人と人との絆を強くするなどの役割も果たし地域づくり

に大きな役割を果たしてきました。今後は、これらの公民館機能のますますの充実が期待されます。

県公連の運営では、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済が10年に達し、平成25年度で完済しました。また消費税の値上げに伴い、「公民館月報」の購読料を17年ぶりに値上げし財政の健全化を図ります。

大会、研修会等の開催については、県公民館大会も含め、参加者の資質向上と組織の団結力等を高め、連帯感の醸成を図ることに大きな意義があることから一層の充実が求められます。また、平成25年8月に開催された第54回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会では県内公民館関係者の総力をあげた取り組みで大きな成果をあげました。

これらの取り組みを主として、さらに、公民館が生涯学習推進の中核施設として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点施策として取り組みます。

- (1)関係上部組織とのより一層の連携強化
- (2)職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3)情報収集の充実、提供
- (4)主催事業、関係事業の実施と支援
- (5)財政基盤の強化（自主財源確立への努力）

2 重点事業

- (1)関係上部組織との連携強化
急速な社会情勢の変化に対応するため、関係組織との連携強化を図る
 - ① 全国公民館連合会研修等諸事業への参加・協力
 - ② 関東甲信越静公民館連絡協議会との連携強化、本大会の運営協力
 - ③ 新潟県社会教育団体懇話会等、新潟県社会教育行政機関・団体との連携
- (2)研修事業の充実
上・中・下越地区公連役職員研修の共催及び県立生涯学習推進センターの研修事業への参加により、効率的な研修を推進し、職員の専門的知識・技能の向上を図る。
 - ① 上・中・下越公連別職員、公運審委員等の

実践記録 シリーズ 193

新潟県生涯学習協会は会員の会費と県補助金とで運営している民間の社会教育団体です。

県「いじめ見逃しゼロ県民運動」広報・啓発事業 “児童期家庭教育セミナー” 実施報告

新潟県生涯学習協会 事務局長 高橋 文子

いじめ見逃しゼロ県民運動 広報・啓発事業
児童期家庭教育セミナー
社会性の育成を再点検!
いじめには、社会性の未熟さも影響していると
考えられています。
今回はこの社会性をしっかりと養うために、
親の役割、あの手について話し合います。
また、子どもがかわるスマホ、ケータイ等が
もたらす有害情報についてもお知らせします。
～3回コース～

その1 11月19日(水)
社会性が持つ力
元新潟市大塚少年センター所長 眞柄 正幸さん

その2 11月20日(木)
親の役割 再確認!
元新潟市大塚少年センター所長 眞柄 正幸さん

その3 11月26日(水)
**親が知らない
子どものスマホ・ケータイ事情**
新潟中央警察署 生活安全課警員

■ 時間：午前10時～11時30分
■ 対象：小学生の保護者
■ 定員：先着30人
■ 参加費：無料
■ 会場：新潟市中央公民館 403・405講堂
■ 問い合わせ：新潟県生涯学習協会 TEL・FAX 025-266-1120

◆申し込み◆11/5より受付開始 新潟市中央公民館へ TEL 24-2068

主催：新潟県生涯学習協会 共催：新潟市中央公民館

はじめに
みなさんは、昨年から県内の学校に「いじめ見逃しゼロ県民運動」の横断幕やステッカーを目にされていることでしょうか。当協会はこの運動を県が関係機関・団体との連携で展開している「深めよう絆にいがた県民会議」の構成団体です。
この度、“いじめ”を関係者だけでなく社会全体の問題として捉え、その解消につなげようと小学生の保護者を対象にした3回コースの家庭教育セミナーを開催しました。
セミナーの講師は豊富な人材を会員に持つ協会のメリットを活かし、新潟市中央公民館と共催で、テーマは“いじめ”と深く関連している「社会性の育成」としました。ねらいは社会性を養う必要性の認識とそのため親の役割について再確認です。また、最終回に子どもとソーシャルメディアに関する有害な最新情報を得る機会を設けました。



一日目：グループワーク〈変わる学校教育を知る〉
「うーん？社会性の具体像ってなんだあ…。」「わかるようでむずかしい！」情報交換をしながら各班で話し合いが進み、解散時間になっても講師を囲んで話が弾みました。



三日目：情報提供
子どもたちの機器使用の実状は、親の理解を超えています。子ども任せにせず、親もケータイ、スマホ、ゲーム機、タブレット端末等を知る必要があります。そして、各自が日頃の子どもののかかわりの姿を再点検する機会にもなりました。



二日目：ワークショップ
今の子どもたちの社会性で、最も欠けている課題は判断力や思いやり、協調性を養うことでまとまりました。この解決には親の役割の大切さであり、学校、地域、団体活動などとのつながりから社会性が育つことも再認識しました。そして社会性が「生きる力」と重なることを確認して終了となりました。

おわりに
この3回、5時間弱の時間で直ちに“いじめ”がなくなるわけではありません。しかし親とおしが集まり、時間を惜しんで話し合う姿は正に「the! 社会教育」です。このような場は親が視野を広げ、考えを深めるために有効と考えます。
参加者アンケートから抜粋：難しそうなお題だったが、内容は身近なことだった。話し合いも思った以上に話せて有意義。内容もとてもわかりやすい。～講師のお二人に、新潟市中央公民館に感謝～

書友

入広瀬習字教室

豪雪の地魚沼(旧入広瀬村)も今冬は誠に少雪、それでも屋根の雪掘は十回ほど。弥生三月に入り周りの山々が黒い土肌を見せ始め、少しづつ冬の寒さが和らぎ雪解け水の流れる音が心地よく山内に響きわたるこの頃です。



平成十二年公民館習字教室として六名の書友で発足しました。途中町村合併で入広瀬村も魚沼市となりましたが、入広瀬習字教室として現在も小中学生、成人合せて二十六名の書友で月二回の学習を続けています。年一回の文化祭に作品を

ています。これからも、集中して文字を書く習慣が子ども達の大切な忍耐力の養育に役立つことを願い、一歩一歩の前進を目指して、楽しく学習を継続していきたいと思っています。

魚沼市・入広瀬習字教室
講師 多田 辰男 記



社交ダンスの楽しみ

弥彦ダンスクラブ

弥彦ダンスクラブは昭和52年に旧弥彦体育館で発足しました。今から37年前です。当時は会員も少なく少数精鋭といった感じでした。私で6代目の会長になります。私が参加した時に旧体

育館から弥彦総合文化会館に活動の場を移しました。ダンス教室に通っていた人が指導員となり、初心者も様々なステップを覚え成長してきました。指導員は人にダンスを教えることで自分自身のダンスを再確認しながら、指導の仕方についても学びます。お互いに対する助け合いのような感じですね。何より社交ダンスが好きな人たちが集まり、一緒に楽しんできました。

秋の弥彦村文化芸能祭では類似団体の「社交ダンスの会」と合同で発表も行っています。今の悩みは部員の減少傾向と高齢化でしょうか。



弥彦村・弥彦ダンスクラブ
藤井 要一 記

去年の11月から新しく町の海岸地区にある海岸公民館の事務職員として活躍している、竹村しのぶさんを紹介します。

竹村さんは建物の管理など公民館に関する業務の他にも、図書館全般の業務や町民の方から町へ申請される書類の受付などといった様々な業務を一手に引き受けており、毎日大忙しの日々を送っております。

また、中学校のときからバレーボールに親しんでおり、

出雲崎町海岸公民館

事務職員 竹村しのぶさん



その経験を活かして、町のスポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員を務めてもらっております。一方、家庭の中では2人のお子さんを持つお母さんでもあります。竹村さんを新たな仲間に加え、町の公民館が一層明るくなるよう職員一同期待をしております。

(出雲崎町教育課(中央公民館) 主任 五十嵐文明 記)

生涯学習課に着任して1年が過ぎました。今は子ども会、高齢者向け講座などを主に担当しています。

全くの畑違いな部署からの異動にもかかわらず、何年も前から居たかのようななじみっぷりには只々敬服します。それはおそらく、彼のオールマイティなところからきているのでしょう。コミュニケーション力OK(子どもからお年寄りまで)、IT活用力OK、業務変革力、遂行力、チーム貢献、どれもそつなくこなす。(なんだか人

柏崎市教育委員会 生涯学習課学習推進係

主査 前川 岳士さん



事考課みたいですが) あらあら、この男、欠点はないのか?と思いきや、やっぱりありましたね。彼は今、二人のちびっこ(男の子)の子育て真っ最中。ちびっこにはめっぽう弱いようです。しかし、それをも乗り越えて柏崎公民館にはなくてはならない存在になりそうな勢いです。未恐ろしい。

(生涯学習課学習推進係 星野 淳一 記)

素顔拝見

恵贈資料紹介

新潟県地域家庭教育推進協議会・新潟県教育委員会が「はくくみネットワーク 第9集」を

これは、県内の「社会全体で子どもをはくくむ運動」で各



事例は、上、中、下越から26市町村に加え協議会と教育委員

新潟県教育委員会

た、中と同じには協議会の委員が家庭教育への思いを述べている

問い合わせ

新潟県教育庁生涯学習推進課 青少年家庭教育係・青木・見玉

お元気ですか

「地域活動を通して思うこと」 小川喜美子 (妙高市)



私は市のレクリエーション協会に所属して地域活動をしています。

そのような活動をする中、地元の人が作詞作曲をした地域に古くから伝わる「鳥坂小唄」を「地域の宝」と子ども達に伝承し、伝えていきたいとの思いから、

地域の敬老会では参加した皆さんと、運動会では子ども達、先生、参加した皆さんと一緒に踊っています。

また、平成20年にレクコーディネーターを取得し、市内小学校のアウトドアやニュースポーツなどのクラブ活動の指導、

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

Net work ネットワーク

「こども読書週間」

春の恒例行事として「こども読書週間」が4月23日(水)から5月12日(月)まで全国で実施されます。

- 1 読書週間広報活動 ポスター等掲示
2 普及功労者表彰
3 各機関の実施行事
こども読書のつどい、親子の読書会、こどもたちへの読書指導

新潟県読書推進運動協議会事務局 担当：遠藤 (県立図書館内) TEL 025-284-6147 *県公連は当協議会の構成団体です。

「平成26年度県高齢者大学入学案内」

新潟県高齢者大学では、平成26年度の学生を募集しています。新潟市、長岡市、上越市で多くの講座が開催されます。

新潟県高齢者大学事務局 新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ内 TEL 025-285-1400 *県公連は当大学の運営委員です。

美しい国土と豊かな環境を未来の世代に

過疎地域には、安全・安心な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等のほか、都会の人々のやすらぎや教育の場として、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能があります。

私たちは、過疎問題の解決を国民全体の課題と捉え、継続した取り組みが必要であると考えています。

新潟県過疎地域自立促進協議会 会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

- ◆新潟県内の過疎市町村(14市町村) 長岡市、上越市、柏崎市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、佐渡市、魚沼市、阿賀町、出雲崎町、津南町、関川村、粟島浦村

事務局長のつぶやき

桜満開。ホルモン活発、気分ウキウキ。春ですね。今冬は、降らないはずの関東や太平洋側が大雪でした。新潟市は最大積雪が東京より少ないという珍現象。市内の除雪

車の出勤がゼロでこれも記録的

山沿いも例年に比べて少雪。早くも夏の水不足が心配という声。4月は異動の時期。今年もいっぱい泣き笑いがあったことでしょう。新しい職場の皆さんに心からエールを。(田原)